

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

長吉東小	学校
------	----

児童数	39
-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	^{20m} シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.50	17.80	33.15	39.15	36.75	9.21	163.43	24.29	52.95
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	17.52	18.82	37.33	39.21	29.00	10.07	152.52	11.86	54.32
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.51	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

体力合計点は男女ともに全国平均を上回った。男女ともに「立ち幅とび」と「握力」が全国平均を上回っていた。反対に全国平均を大きく下回ったのが「20mシャトルラン」であった。本校の児童は持久力に課題があるといえる。「運動やスポーツをすることは好きですか」という質問に対し、「好き」と答えた児童の割合は、男女ともに全国平均を下回っていた。一週間の総運動時間が60分未満の児童の割合も高く、特に男子は全国平均の3倍近い割合であった。運動をしていない児童の割合が大変高いことがわかった。また、体格について集計したものを全国平均と比較してみると、本校は肥満傾向にある児童の割合が高いことがわかった。特に男子は重度肥満の割合が高く、全国平均の4.5倍であった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校の児童が進んで運動ができるように体育科の授業の工夫を行ってきた。学習カードやタブレット端末を積極的に活用してきた。特に力を入れて取り組んだのが「ダンス」である。出前授業を実施してゲストティーチャーから専門的な指導を受けられるようにした。これにより、児童は運動に対する高い意欲を持つようになった。冬季も児童が積極的に外へ出て体を動かすように「かけあし週間」「なわとび週間」の取り組みを行った。カードを作成して児童に目標を持たせた。今後重点的に取り組むべき課題は持久力である。「20mシャトルラン」の結果が、男女ともに全国平均を大きく下回っていた。今後も継続して児童が運動に親しむことができるよう、様々な工夫をしていきたい。また、地域のスポーツクラブへも積極的に学校の体育施設を開放して、児童の体力が向上するようにしていきたい。